

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 住友ベークライト株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小川 富太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理企画本部副本部長

(氏名) 寺島 郁朗

TEL 03-5462-3452

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	78,922	△34.2	160	△96.9	570	△91.2	△2,193	—
21年3月期第2四半期	119,933	—	5,179	—	6,502	—	2,700	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△9.10	—
21年3月期第2四半期	10.66	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	210,365	126,247	59.5	519.14
21年3月期	215,852	125,604	57.7	516.97

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 125,090百万円 21年3月期 124,573百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△20.0	4,600	—	5,600	—	800	—	3.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 262,952,394株 21年3月期 262,952,394株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 21,994,830株 21年3月期 21,984,123株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 240,963,166株 21年3月期第2四半期 253,273,030株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想につきましては、平成21年5月8日に発表いたしました予想から修正しております。詳細につきましては4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」および平成21年11月6日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記の予想は、作成時点において当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によりこれらの予想と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、昨年度後半の急激な経済危機に、各国が協調して金融・財政政策を発動したことにより、景気底入れの兆しが見えてきたものの、先行きの不透明感が払拭できない状況が続きました。国内経済も、家電や自動車に対する政府の景気浮揚策により個人消費の一部に下げ止まりの兆候がみられましたが、設備投資の大幅な減少や雇用情勢の悪化が続くなど、依然として厳しい状況でした。

当社グループを取り巻くグローバルな経済環境は、半導体は前年同期比較では減少が続いているものの、在庫調整が一巡し、ネットブックなどの低価格パソコンが増加したことで、緩やかな回復基調に入りました。自動車は、世界各国で急激な需要減少の後、欧米や日本の買い替え促進策により減少に歯止めがかかったことと、中国などの新興国の需要増加により、持ち直しの動きがでてきました。

一方、国内環境では、携帯電話は買い替え需要が少なく低迷し、住宅着工件数も大幅な減少が続きました。

当社グループは、このような急激な経営環境悪化の中で実需に見合った生産販売体制への移行と全面的なコストの削減を行うと共に、不採算事業整理の促進と、重点事業への集中投資を行ってきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、789億22百万円(前年同期比34.2%の減少)となり、営業利益は1億60百万円(同96.9%の減少)、経常利益は5億70百万円(同91.2%の減少)となりました。利益につきましては、海外子会社の損益が今年1月から3月の損益を取り込んでいることで僅少ですが、固定費を中心とした大幅なコスト削減により、当初の赤字予想から黒字の確保ができるころまで業績の回復が進みました。四半期純損益につきましては、前年度に引き続く更なるリストラ実施のための事業再建関連費用19億40百万円や、一部銘柄の株価下落による投資有価証券評価損8億73百万円などを特別損失に計上したことで、21億93百万円の四半期純損失となりました。

## 事業の種類別販売状況（対前年同期比較）

## ①「半導体・表示体材料」部門

前年同期比売上高は減少したものの、半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用樹脂、半導体実装用キャリアテープは、前年度後半の急激な在庫調整が終了したことで、売上高は春先から増加いたしました。

## ②「回路製品」部門

フレキシブル・プリント回路は、携帯電話やデジタル家電等の需要の減少から、売上高は減少しました。エポキシ樹脂銅張積層板およびフェノール樹脂銅張積層板は、車載用途の持ち直しが進んだことなどから損益分岐点近くまで回復が進みました。

## ③「高機能プラスチック」部門

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂および成形品は、世界各国の自動車関連市場の急激な冷え込みから、売上高は減少しました。しかしながら足元では自動車業界の緩やかな持ち直しとコスト削減によりアジアとヨーロッパにおいて業績の回復が進みました。

## ④「クオリティオブライフ関連製品」部門

医療機器製品は、新製品の売上高が順調に増加し、売上高は若干増加しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートは、医療用途が堅調に増加し、エレクトロニクス用途も大きく回復が進みました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、メラミン樹脂化粧板・不燃板などのプレート・デコラ事業は、住宅関連の需要の減少や企業の設備投資の減少などから売上高は減少しました。

防水関連事業は、リフォーム分野で積極的な拡販を推進しましたが、新築分野の市場回復が遅れ、売上高は若干減少しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債および純資産の状況

## ①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ54億87百万円減少し、2,103億65百万円となりました。

これは主に、受取手形および売掛金が36億36百万円増加したことおよび有形固定資産が16億40百万円増加した一方で、コマーシャル・ペーパーの減額や配当金の支払等により現金および預金が86億72百万円減少したことおよびたな卸資産が38億11百万円減少したことによるものであります。

## ②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ61億30百万円減少し、841億18百万円となりました。

これは主に、支払手形および買掛金が13億84百万円増加した一方で、コマーシャル・ペーパーを65億円減額したことによるものであります。

## ③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億43百万円増加し、1,262億47百万円となりました。

これは主に、四半期純損失21億93百万円の計上および配当金18億7百万円の支払などの減少要因があった一方で、その他有価証券評価差額金が18億2百万円増加したことおよび為替換算調整勘定が33億40百万円増加したことによるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金および現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ77億97百万円減少し、311億84百万円となりました。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は44億24百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失および売上債権の増加による支出と、減価償却費の計上およびたな卸資産の圧縮による収入の結果であります。前年同期と比べると68億26百万円の収入の減少となりました。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動に用いた資金は35億30百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の結果であります。前年同期と比べると13億49百万円の支出の減少となりました。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に用いた資金は94億68百万円となりました。これは主に、コマーシャル・ペーパーの減額と配当金の支払による支出の結果であります。前年同期と比べると41億12百万円の支出の減少となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、世界経済は信用収縮や雇用情勢の悪化による景気低迷のリスクを抱えながらも、アジアを中心とした緩やかな回復に向かうと見込まれます。国内経済も、海外景気の減速、雇用情勢の悪化、円高進展のリスクが懸念されますが、概ね緩やかな持ち直しが進むものと思われまます。また、当社の業績に大きく影響する半導体市況の回復も不透明ながら少なくとも足元の状態が続くと予想しております。このような状況のなかで、一層のコスト削減に注力し、選択と集中を徹底して事業の構造改革を促進すると共に、顧客ニーズを先取りし需要の掘り起こしをはかり、業績の維持・向上に努めてまいります。

## 第3および第4四半期の経済環境見通し(第1および第2四半期比較)

半導体生産額(世界)	若干の増加
自動車生産台数(世界)	若干の増加
携帯電話生産台数(世界)	若干の増加
パソコン販売台数(世界)	若干の増加
住宅着工戸数(日本)	横ばい(700~800千戸/年)
対円・米ドルレート	90円/US\$

平成22年3月期通期の連結業績見通しにつきましては、上述の見通しのもと、売上高1,700億円(前期比約20%減)、営業利益46億円、経常利益56億円、当期純利益8億円を予想しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,830	40,502
受取手形及び売掛金	40,247	36,611
商品及び製品	8,372	10,271
半製品	2,076	2,168
仕掛品	993	938
原材料及び貯蔵品	8,113	9,988
その他	6,864	5,734
貸倒引当金	△397	△412
流動資産合計	98,100	105,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,146	33,292
機械装置及び運搬具（純額）	30,391	28,497
その他（純額）	17,874	18,982
有形固定資産合計	82,413	80,773
無形固定資産		
のれん	6,244	6,324
その他	1,516	1,597
無形固定資産合計	7,761	7,921
投資その他の資産	22,089	21,354
固定資産合計	112,264	110,049
資産合計	210,365	215,852

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,494	24,110
短期借入金	6,271	6,319
コマーシャル・ペーパー	5,000	11,500
未払法人税等	824	870
賞与引当金	2,142	2,145
その他	10,690	11,409
流動負債合計	50,424	56,354
固定負債		
長期借入金	14,453	14,902
退職給付引当金	11,165	11,163
事業再建費用引当金	2,881	2,192
その他の引当金	721	1,365
負ののれん	2,048	2,464
その他	2,424	1,804
固定負債合計	33,693	33,894
負債合計	84,118	90,248
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	71,566	76,187
自己株式	△11,912	△11,907
株主資本合計	132,155	136,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,657	△145
為替換算調整勘定	△8,722	△12,062
評価・換算差額等合計	△7,065	△12,207
少数株主持分	1,156	1,030
純資産合計	126,247	125,604
負債純資産合計	210,365	215,852

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	119,933	78,922
売上原価	89,545	57,754
売上総利益	30,387	21,168
販売費及び一般管理費	25,207	21,008
営業利益	5,179	160
営業外収益		
受取利息	408	68
受取配当金	277	129
負ののれん償却額	732	416
持分法による投資利益	49	102
雑収入	424	225
営業外収益合計	1,893	942
営業外費用		
支払利息	218	197
為替差損	—	94
雑損失	352	240
営業外費用合計	570	531
経常利益	6,502	570
特別利益		
固定資産売却益	371	18
投資有価証券売却益	43	0
関係会社株式売却益	—	197
特別利益合計	415	216
特別損失		
固定資産除売却損	216	307
投資有価証券評価損	1,044	873
事業整理損	—	28
事業再建関連費用	628	1,940
解決金等	—	528
減損損失	81	122
適格退職年金過去勤務費用	757	—
たな卸資産評価損	730	—
その他	18	1
特別損失合計	3,478	3,802
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,439	△3,014
法人税、住民税及び事業税	1,799	589
法人税等調整額	△971	△1,445
法人税等合計	828	△855
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△89	34
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,700	△2,193

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,439	△3,014
減価償却費	6,411	5,879
減損損失	81	122
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,083	△203
固定資産除売却損益(△は益)	△155	288
受取利息及び受取配当金	△686	△197
支払利息	218	197
投資有価証券売却損益(△は益)	△43	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,044	873
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△197
売上債権の増減額(△は増加)	413	△3,176
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,503	4,366
その他の流動資産の増減額(△は増加)	700	△1,239
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,093	1,178
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,244	△836
その他	△646	315
小計	11,025	4,356
利息及び配当金の受取額	699	202
利息の支払額	△212	△198
法人税等の支払額	△262	64
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,250	4,424
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,491	△4,522
有形固定資産の売却による収入	436	377
投資有価証券の取得による支出	△34	△6
投資有価証券の売却による収入	52	—
長期貸付けによる支出	△31	△279
その他	189	900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,879	△3,530
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,096	△700
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△5,000	△6,500
配当金の支払額	△1,936	△1,807
少数株主への配当金の支払額	△226	△1
自己株式の取得による支出	△5,018	△5
その他	△302	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,580	△9,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,322	1,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,532	△7,301
現金及び現金同等物の期首残高	43,378	38,981
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△495
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,846	31,184

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	半導体・ 表示体材 料	回路製品	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	28,967	18,171	38,440	33,909	444	119,933		119,933
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高			354	187		542	(542)	
計	28,967	18,171	38,794	34,097	444	120,475	(542)	119,933
営業利益又は 営業損失( )	4,874	1,071	2,243	1,667	55	7,769	(2,589)	5,179

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位：百万円)

	半導体・ 表示体材 料	回路製品	高機能 プラス チック	クオリテ ィオブラ イフ関連 製品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,594	8,371	22,694	27,970	290	78,922		78,922
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高			135	224		360	(360)	
計	19,594	8,371	22,829	28,195	290	79,282	(360)	78,922
営業利益又は 営業損失( )	2,120	1,366	648	770	26	2,146	(1,986)	160

(注) 1 事業区分は、製品の市場における主要用途、事業の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主要な製品および役務の内容

(1) 半導体・表示体材料

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体実装用キャリアテープ、半導体チップ接着用テープ

(2) 回路製品

フレキシブル・プリント回路、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板

(3) 高機能プラスチック

フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、精密成形品

(4) クオリティオプライフ関連製品

医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・不燃板、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、水処理関連製品、防水工事の設計ならびに施工請負

(5) その他

試験研究の受託、土地の賃貸等

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	64,237	35,135	8,783	11,777	119,933		119,933
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,903	5,256	349	2	12,512	(12,512)	
計	71,141	40,392	9,132	11,779	132,445	(12,512)	119,933
営業利益又は 営業損失( )	3,603	3,657	294	696	7,662	(2,482)	5,179

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	北米	欧州その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	50,552	17,985	4,865	5,519	78,922		78,922
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,022	3,342	117	8	8,490	(8,490)	
計	55,575	21,327	4,982	5,527	87,413	(8,490)	78,922
営業利益又は 営業損失( )	1,546	970	346	141	2,029	(1,869)	160

(注) 1 国又は地域の区分は、概ね地理的の近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、ベトナム、タイ

(2) 北米.....米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域.....ベルギー、スペイン

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	北米	欧州その他の地域	合計
海外売上高	42,016	8,860	11,152	62,029
連結売上高				119,933
海外売上高の連結売上高に占める割合	35.0%	7.4%	9.3%	51.7%

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	北米	欧州その他の地域	合計
海外売上高	25,361	4,798	5,447	35,607
連結売上高				78,922
海外売上高の連結売上高に占める割合	32.1%	6.1%	6.9%	45.1%

(注) 1 国又は地域の区分は、概ね地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア.....シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア、フィリピン、台湾、韓国、タイ

(2) 北米.....米国、カナダ、メキシコ

(3) 欧州その他の地域.....ベルギー、スペイン

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。